

(分担研究報告「日本で流行している HIV の遺伝子解析 (3 年間のまとめ)」近藤真規子、他)

④ HIV 感染時期推計法の開発

2004 年から 2013 年の 10 年間において、当研究班と協力関係にある民間クリニックでの新規感染者 669 例について、BED 法及び PA 法により HIV 抗体価を測定し、年次別の感染初期割合を調査した。その結果、BED 法と PA 法はともに、感染初期の割合は 2004 年が最も高く、2011 年が最も低いことを示していた。

新しい免疫学的指標としてクラス別抗体 (IgM、IgA、IgG) 測定系の検討を行い、感染時期推定の血清学的パラメーターとしての有効性について検討した。HIV に感染すると最初に IgM 抗体が出現するが、比較的早期に衰退し、IgM 抗体が減少し始めたころから IgG 抗体が出現し高濃度で持続した。しかし、IgM と IgA 及び IgG 出現の差は 1 週間程度しかなく、また IgA は感染 4 年後も低濃度ではあるが検出された。したがって、これらクラス別抗体による感染時期の推定は困難と思われた。

(分担研究報告「HIV 感染時期を推計するための抗体検査法の検討 (3 年間のまとめ)」近藤真規子、他)

⑤ 口腔拭い液及び唾液を用いた HIV 検査キットの検討

口腔拭い液や唾液を用いた検査は、採血を伴う血液検査より受検行動への心理的敷居が低いと考えられ、感染者の早期発見の手段の一つとして期待されている。本研究では、既に血液検査キットとして市販されている HIV 迅速検査キットについて、検体の適用拡大の可能性を見据え、口腔拭い液及び唾液を用いた場合の抗体検出能力を検討した。HIV 感染者 9 例の血漿、口腔拭い液及び唾液検体を用いてエスプライン HIV Ag/Ab で検査を行った結果、血漿ではすべての検体で抗体が検出されたが、口腔拭い液、唾液では共通する 1 つの検体で抗体が検出されなかった。口腔拭い

液と唾液の抗体価は血漿の 1/83~1/667 であった。HIV 陰性者 139 例の 1 例で口腔拭い液検体を用いたエスプライン HIV Ag/Ab の検査で弱陽性が見られた。エスプラインを口腔拭い液検体による検査法として用いるためには感度と特異度を上げる必要がある。(分担研究報告「口腔拭い液および唾液を用いた HIV 検査キットの検討」須藤弘二、他)

C. 考察

エイズ動向委員会の報告によると、保健所等における HIV 抗体検査件数は 2008 年の 177,156 件をピークに減少し、過去 5 年間は 13~14 万件で推移している。検査件数が減少した原因として、2009 年の新型インフルエンザの流行や 2011 年の東日本大震災の影響が指摘されているが、社会全体の HIV/エイズへの関心が低下していることも大きく関係していると思われる。このような状況のなか、感染拡大の防止のためには、MSM 等の陽性リスクが高い人々の受検行動の促進に焦点をあてた検査普及啓発が極めて重要である。その実現のため、本研究では、保健所等における検査の情報提供、MSM や性感染症患者の受診が多い民間クリニックにおける HIV 即日検査の導入、MSM を対象とする HIV/STIs 即日検査会の開催、カードツール開発による MSM の HIV 感染予防支援介入研究などを実施してきた。

保健所等における HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査や夜間、土日検査など、利便性の高い検査を提供している保健所等の比率はかなり高くなっており、通常検査で平日、昼間のみ検査を実施している保健所は全体の 24%と少なかった。自治体別にみると、大阪府ではここ数年、保健所や特設検査施設への即日検査の導入が進み、それが受検者数の増大や、場所によっては陽性判明者数の増大につながっていると思われる。

ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」は主要な検索エンジンによる HIV 検査関連の検

素で常にトップに表示され、日本赤十字社の献血事業での献血者への配布資料や、自治体の HIV 検査普及啓発活動などで活用されており、行政的に重要な役割を果たしている。

2014 年における郵送検査会社の年間検査数は 77,588 件で、保健所等での検査数 145,048 件の 53%にあたる。また、郵送検査の陽性件数は 113 件で、保健所等での陽性件数 490 件の 23%である。このように郵送検査はわが国の HIV 検査の大きな部分を占めている。郵送検査には他人と対面することなくいつでもどこでも受検できるという特徴があり、受検希望者のニーズに応えている部分がある。しかし、郵送検査には、検査に関する知識を受検希望者が正しく理解できない、陽性者判明者に対して精神的ケアを十分に行えない、医療機関に繋がったことの確認が困難、公的な精度管理が実施されていない、団体申し込みの場合のプライバシー保護など、多くの問題がある。このような問題を解決するため、郵送検査適正化のためのガイドライン作りと適正郵送検査事業者の認定制度が必要ではないかと考える。

民間クリニックにおける即日検査相談に関しては、2014 年は新たに 7 箇所が研究協力クリニックとして加わり、合計 41 箇所となった。特に埼玉県では、県庁担当者が当研究事業に関心を持ち、クリニック連携に積極的に取り組んでいただいたことから、2 箇所のクリニックが新たに研究協力クリニックとして加わった。今後、他自治体との協力も期待できる事例であった。CSW の定期検診が中心の婦人科クリニック・女性 STI クリニックでは、女性 8,357 人中陽性数は 0 件であり、日本における CSW の HIV 感染率の低さが示唆された。クリニックにおける確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等のフォロー状況については、おおむね良好と思われた。確認検査を受け取った人の 94%は、その後の経過もフォローされており、多くの陽性者を

早期の HIV 治療に結びつけたことは、検査提供施設として十分な役割を果たしていると思われる。

民間クリニックは有料にも関わらず多くの受検者が即日検査を受けており、医療機関であることの安心感や場所・受付時間帯の利便性等から、検査希望者にとって検査を受けやすい施設の一つとなっている。STI クリニックは他の性感染症に罹患している人も多く来院し、医師が直接患者を診察することで HIV の早期発見に繋がる可能性が高いことから、医療機関における即日検査の導入は非常に効果的であると思われる。

スクリーニング検査に使われている EIA が近年の技術の進歩により、確認検査に使われている WB 法より感度が高くなっていることを明らかにした。しかし、WB 法と並んで確認検査に使われている NAT でも感染を判定できないことがあることも分かった。このような結果を踏まえ、感染初期をより正確に判定するため、HIV 検査のアルゴリズムを再検討する時期に来ていると考える。

エイズ対策の基本である HIV 感染症の早期発見・早期治療を促進するためには、従来からの諸課題を地道に克服していくことも重要であるが、保健所における HIV 検査へのインターネット予約システムや郵送検査の導入、自己検査試薬の販売許可、医療機関における入院時・術前検査の活用と結果通知の改善、郵送検査の認証制度など、新たな検査手法を積極的に導入し、陽性判明者の増加と治療への確実な橋渡しを図る必要があると考える。

D. 結論

HIV 感染者の早期診断、早期治療を推進し、HIV 感染流行の速やかな終息をはかるため、HIV 検査相談に関係する様々な課題について包括的に研究を進め、多くの具体的な成果を上げることができた。今後、ここで得られた研究成果をもとに新たな発想による HIV 検査

相談体制の充実を図ることが重要である。

E. 研究発表

論文発表

1. Yoshida S, Hattori J, Matsuda M, Okada K, Kazuyama Y, Hashimoto O, Ibe S, Fujisawa SI, Chiba H, Tatsumi M, Kato S, Sugiura W. Japanese External Quality Assessment Program to Standardize HIV-1 Drug-Resistance Testing (JEQS2010 Program) Using In Vitro Transcribed RNA as Reference Material. *AIDS Res Hum Retroviruses*. (in press)
2. Tsuchiya K, Hayashida T, Hamada A, Kato S, Oka S, Gatanaga H. Low raltegravir concentration in cerebrospinal fluid in patients with ABCG2 genetic variants. *J Acquir Immune Defic Syndr*. 15;66(5):484-6, 2014.
3. 大多和由美、前田憲昭、溝部潤子、的野慶、池野 良、中川裕美子、加藤真吾：院内ポスターを活用したHIV検査へ繋げる歯科診療。日本エイズ学会誌（印刷中）
4. 矢永由里子、今井光信、加藤真吾。研修事業の取り組み：研修をデザインすること。日本エイズ学会誌。16(3):185-193, 2014.
5. Miyoshi, M., Komagome, R., Ishida, S., Kikuchi M., Sato H., Ito H., Nagano, H., and Okano, M. Recent progress toward measles elimination in Hokkaido, Japan, during 2011-2012. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 67(4). 311-314, 2014.
6. Miyoshi, M., Komagome, R., Ishida, S., Nagano, H., and Okano, M. Epidemiology and laboratory diagnosis of rubella in Hokkaido district during the nationwide outbreak in Japan, 2011-2013. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 67(6). 479-484, 2014.
7. Kaneko H, Tsuboi H. Analysis on Awareness of Functional Dyspepsia and Rome Criteria Among Japanese Internists by the Self-administered Questionnaires. *J Neurogastroenterol Motil*. 20(1). 94-103, 2014.
8. Navaratna S, Kanda K, Dharmaratne SD, Tennakoon S, Jayasinghe A, Jayasekara N, Nagano K, Obayashi Y, Arai A, Tamashiro H. Awareness and attitudes towards HIV/AIDS among residents of Kandy, Sri Lanka. *AIDS Care*. 27(3), 387-391, 2015.
9. 井戸田一朗. 自動化法によるRPR測定を用いた梅毒患者の治療効果判定について. *感染症学雑誌*. 88:275-278, 2014.
10. 吉川博政、山本政弘、城崎真弓、長与由紀子、辻麻里子、前田憲昭. 九州医療センターにおける歯科医師、歯科衛生士HIV/AIDS研修プログラムについて. *日本エイズ学会誌*. 16(2):110-113, 2014.
11. Watanabe T, Hamada-Tsutsumi S, Yokomaku Y, Imamura J, Sugiura W, Tanaka Y. Post-Exposure Prophylactic Effect of HBV-active Antiretroviral Therapy Against Hepatitis B Virus Infection. *Antimicrob Agents Chemother*. 59(2) 1292-1298, 2015.
12. Shiino T, Hattori J, Yokomaku Y, Iwatani Y, Sugiura W. Phylodynamic Analysis Reveals CRF01_AE Dissemination between Japan and Neighboring Asian Countries and the Role of Intravenous Drug Use in Transmission. *PloS one*. 9(7):e102633. 2014.
13. Kudoh A, Takahama S, Sawasaki T, Ode H, Yokoyama M, Okayama A, Ishikawa A, Miyakawa K, Matsunaga S, Kimura H, Sugiura W, Sato H, Hirano H, Ohno S, Yamamoto N, Ryo A. The phosphorylation of HIV-1 Gag by atypical protein kinase C facilitates viral infectivity by promoting Vpr incorporation into virions. *Retrovirology*. 11:9. 2014.
14. Imahashi M, Izumi T, Watanabe D,

- Imamura J, Matsuoka K, Ode H, Masaoka T, Sato K, Kaneko N, Ichikawa S, Koyanagi Y, Takaori-Kondo A, Utsumi M, Yokomaku Y, Shirasaka T, Sugiura W, Iwatani Y, Naoe T. Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk. *PloS one*. 9(3):e92861. 2014.
15. Gu L, Kawana-Tachikawa A, Shiino T, Nakamura H, Koga M, Kikuchi T, Adachi E, Koibuchi T, Ishida T, Gao GF, Matsushita M, Sugiura W, Iwamoto A, Hosoya N. Development and Customization of a Color-Coded Microbeads-Based Assay for Drug Resistance in HIV-1 Reverse Transcriptase. *PloS one*. 9(10):e109823. 2014.
 16. Takebe Y, Naito Y, Raghwani J, Fearnhill E, Sano T, Kusakawa S, Mbisa JL, Zhang H, Matano T, Broun A, Pybus OG, Dunn D, Kondo M, on behalf of UK Collaborative Group on HIV Drug Resistance. Intercontinental Dispersal of HIV-1 subtype B Associated with Transmission among Men Who have sex with Men in Japan. *J. Virol*. 88(17):9864-9876, 2014.
 17. Kondo M, Lemey P, Sano T, Itoda I, Yoshimura Y, Sagara H, Tachikawa N, Yamanaka K, Iwamuro S, Matano T, Imai M, Kato S, Takebe Y. Emergence in Japan of an HIV-1 variant associated with transmission among men who have sex with men (MSM) in China: first indication of the International Dissemination of the Chinese MSM lineage. *J Virol*. 87(10):5351-61, 2013.
 18. Miyoshi, M., Komagome, R., Ishida, S., Nagano, H., Takahashi, K. and Okano, M. Genomic characterization of echovirus 6 causing aseptic meningitis in Hokkaido, Japan: a novel cluster in non-structural protein coding region of human enterovirus B. *Archives of Virology*. 158(4): 775-784, 2013.
 19. Ken Shimuta, Magnus Unemo, Shu-ichi Nakayama, Tomoko Ishihara, Takuya Kawahata, and Makoto Ohnishi, on behalf of the Antibiotic-Resistant Gonorrhoea Study Group. Antimicrobial resistance and molecular typing of *Neisseria gonorrhoeae* isolates in Kyoto and Osaka, Japan in 2010-2012 - intensified surveillance after identification of the first high-level ceftriaxone resistant strain H041. *Antimicrob. Agents Chemother*. 57(11) 5225-5232, 2013.
 20. Kojima Y, Kawahata T, Mori H, Furubayashi K, Taniguchi Y, Iwasa A, Taniguchi K, Kimura H, Komano J. Prevalence and epidemiological traits of HIV infections in populations with high-risk behaviours as revealed by genetic analysis of HBV. *Epidemiol Infect*. 141 2410-2417, 2013.
 21. Takahashi N, Tsuboi H, Yoshida N, Tanimoto T, Khan M, Kimura K. Investigation into the Antinfluenza Agent Oseltamivir Distributed via the Internet in Japan. 47(6): 699-705, 2013.
 22. Khojah HMJ, Pallos H, Yoshida N, Akazawa M, Tsuboi H, Kimura K. The Quality of Medicines in Community Pharmacies in Riyadh, Saudi Arabia: A Lot Quality Assurance Sampling (LQAS)-Based Survey. *Pharmacol Pharmacy*. 4: 511-9, 2013
 23. Khojah HMJ, Pallos H, Tsuboi H, Yoshida N, Abou-Auda HS, Kimura K. Adherence of Community Pharmacies in Riyadh, Saudi Arabia, to Optimal Conditions for Keeping and Selling Good-Quality Medicines. *Pharmacol Pharmacy*. 4:431-7, 2013
 24. Tsuboi H, Watanabe M, Kobayashi F, Kimura K, Kinae N. Associations of

- depressive symptoms with serum proportions of palmitic and arachidonic acids, and α -tocopherol effects among male population—a preliminary study. *Clin Nutr* 32(2): 289–93, 2013
25. Shibata M, Takahashi M, Yoshino M, Kuwahara T, Nomura T, Yokomaku Y, Sugiura W. Development and application of a simple LC-MS method for the determination of plasma rilpivirine (TMC-278) concentrations. *The journal of medical investigation : JMI*. 60(1-2):35-40. 2013.
 26. Saito A, Nomaguchi M, Kono K, Iwatani Y, Yokoyama M, Yasutomi Y, Sato H, Shioda T, Sugiura W, Matano T, Adachi A, Nakayama EE, Akari H. TRIM5 genotypes in cynomolgus monkeys primarily influence inter-individual diversity in susceptibility to monkey-tropic human immunodeficiency virus type 1. *The Journal of general virology*. 94(Pt 6):1318-1324. 2013.
 27. Nii-Trebi NI, Ibe S, Barnor JS, Ishikawa K, Brandful JA, Ofori SB, Yamaoka S, Ampofo WK, Sugiura W. HIV-1 Drug-Resistance Surveillance among Treatment-Experienced and -Naive Patients after the Implementation of Antiretroviral Therapy in Ghana. *PloS one*. 8(8):e71972. 2013.
 28. Katano H, Yokomaku Y, Fukumoto H, Kanno T, Nakayama T, Shingae A, Sugiura W, Ichikawa S, Yasuoka A. Seroprevalence of Kaposi's sarcoma-associated herpesvirus among men who have sex with men in Japan. *Journal of medical virology*. 85(6):1046-1052. 2013.
 29. Jahanbakhsh F, Ibe S, Hattori J, Monavari SH, Matsuda M, Maejima M, Iwatani Y, Memarnejadian A, Keyvani H, Azadmanesh K, Sugiura W. Molecular epidemiology of HIV type 1 infection in Iran: genomic evidence of CRF35_AD predominance and CRF01_AE infection among individuals associated with injection drug use. *AIDS research and human retroviruses*. 29(1):198-203. 2013.
 30. Jahanbakhsh F, Hattori J, Matsuda M, Ibe S, Monavari SH, Memarnejadian A, Aghasadeghi MR, Mostafavi E, Mohraz M, Jabbari H, Kamali K, Keyvani H, Azadmanesh K, Sugiura W. Prevalence of transmitted HIV drug resistance in Iran between 2010 and 2011. *PloS one*. 8(4):e61864. 2013.
 31. Gatanaga H, Murakoshi H, Hachiya A, Hayashida T, Chikata T, Ode H, Tsuchiya K, Sugiura W, Takiguchi M, Oka S. Naturally Selected Rilpivirine-Resistant HIV-1 Variants by Host Cellular Immunity. *Clinical infectious diseases : an official publication of the Infectious Diseases Society of America*. 57(7):1051-1055. 2013.
 32. 井戸田一朗、星野慎二、沢田貴志、佐野貴子、上田敦久、加藤真吾、今井光信。コミュニティセンター「かながわレインボーセンター SHIP」の夜間 HIV/STIs 即日検査相談を受けた MSM (men who have sex with men) の特徴及び罹患率。日本公衆衛生雑誌 60(5):253-261, 2013.
 33. 佐野貴子、近藤真規子、吉村幸浩、立川夏夫、相楽裕子、井戸田一朗、山中晃、須藤弘二、加藤真吾、今井光信。HIV-1 p24 抗原検出感度が向上した改良型 HIV 抗原抗体同時検出試薬の検討。感染症学雑誌 87(4):415-423, 2013.
 34. 三宅啓文、島田信子、高野弘紀、長島真美、宮川明子、林 志直、貞升健志、甲斐明美：東京都内の HIV 検査陽性例における梅毒・クラミジア抗体検査成績、東京都健康安全研究センター年報、64、2013.
 35. 長島真美、宮川明子、新開敬行、林 志直、貞升健志、甲斐明美：東京都における HIV 検査数と陽性例の解析、病原微生物検出状況、34、254-255、2013.

36. 川畑拓也、長島真美、貞升健志、小島洋子、森 治代：HIV 急性感染期の診断における第4世代迅速検査試薬の性能評価、感染症誌、87、431-434、2013.
37. 武部豊、近藤真規子：中国における男性同性愛者 (MSM) 間の HIV-1 流行の急速な拡大と我が国への流行波及に関する知見：病原微生物検出情報、34(3)、72-73、2013.
38. 加藤真吾. わが国の HIV 流行終息にむけて. IASR 33:237- 239、2012.
39. 井戸田一朗、加藤康幸、畑寿太郎、都内診療所における男性性感染症患者の HIV 陽性率、日本性感染症学雑誌 23:90-93、2012
40. Yamashina H, Obayashi Y, Kanda K, Silva TK, Wattegama S, Jayasinghe A, Tamashiro H. A focus group interview of university students' health in Sri Lanka. *Journal of International Health*, 27(4) : 381-385, 2012.
41. Kanda K, Jayasinghe A, Silva KT, Priyadarshani NGW, Delpitiya NY, Obayashi Y, Arai A, Gamage CD, Tamashiro H. Religious leaders as potential advocates for HIV/AIDS prevention among the general population in Sri Lanka. *Global Public Health* 1-15, 2012 (<http://dx.doi.org/10.1080/17441692.2012.745892>).
42. Kojima Y, Kawahata T, Mori H, Furubayashi K, Taniguchi Y, Iwasa A, Taniguchi K, Kimura H, Komano J. Prevalence and epidemiological traits of HIV infections in populations with high-risk behaviours as revealed by genetic analysis of HBV. *Epidemiol Infect.* 2013 Jan 25:1-8.
43. Bunupuradah T, Imahashi M, Iampornsinsin T, Matsuoka K, Iwatani Y, Puthanakit T, Ananworanich J, Sophonphan J, Mahanontharit A, Naoe T, Vonthanak S, Phanuphak P, Sugiura W. On Behalf Of The Predict Study Team. Association of APOBEC3G genotypes and CD4 decline in Thai and Cambodian HIV-infected children with moderate immune deficiency. *AIDS Res Ther.* 24;9(1):34. 2012.
44. Ode H, Nakashima M, Kitamura S, Sugiura W, Sato H. Molecular dynamics simulation in virus research. *Frontiers in microbiology.* 3:258. 2012.
45. Miyamoto T, Nakayama EE, Yokoyama M, Ibe S, Takehara S, Kono K, Yokomaku Y, Pizzato M, Luban J, Sugiura W, Sato H, Shioda T. The Carboxyl-Terminus of Human Immunodeficiency Virus Type 2 Circulating Recombinant form 01_AB Capsid Protein Affects Sensitivity to Human TRIM5 α . *PloS one.* 7(10):e47757. 2012.
46. Matsunaga S, Sawasaki T, Ode H, Morishita R, Furukawa A, Sakuma R, Sugiura W, Sato H, Katahira M, Takaori-Kondo A, Yamamoto N, Ryo A. Molecular and enzymatic characterization of XMRV protease by a cell-free proteolytic analysis. *Journal of proteomics.* 75(15):4863-4873. 2012.
47. Kitamura S, Ode H, Nakashima M, Imahashi M, Naganawa Y, Kurosawa T, Yokomaku Y, Yamane T, Watanabe N, Suzuki A, Sugiura W, Iwatani Y. The APOBEC3C crystal structure and the interface for HIV-1 Vif binding. *Nature structural & molecular biology.* 19(10):1005-1010. 2012.
48. Jahanbakhsh F, Ibe S, Hattori J, Monavari SH, Matsuda M, Maejima M, Iwatani Y, Memarnejadian A, Keyvani H, Azadmanesh K, Sugiura W. Molecular epidemiology of HIV-1 infection in Iran: genomic evidence of CRF35_AD predominance and CRF01_AE infection among individuals associated with injection drug use. *AIDS research and human retroviruses.* 29:198-203. 2012.
49. Hirano A, Ikemura K, Takahashi M,

- Shibata M, Amioka K, Nomura T, Yokomaku Y, Sugiura W. Short communication: lack of correlation between UGT1A1*6, *28 genotypes, and plasma raltegravir concentrations in Japanese HIV type 1-infected patients. *AIDS research and human retroviruses*. 28(8):776-779. 2012.
50. 都築智之, 岩瀬弘明, 島田昌明, 平嶋昇, 日比野祐介, 龍華庸光, 齋藤雅之, 玉置大, 神谷麻子, 横井美咲, 横幕能行, 藤崎誠一郎, 杉浦互, 後藤秀実. 当院における hiv、Hcv 重複感染症例に対するペグインターフェロン、リバビリン併用療法の治療成績. *日本消化器病学会雑誌*. 109(7):1186-1196. 2012.

学会発表

1. 加藤真吾: HIV 検査の体制—早期検査と早期治療に向けて—, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
2. 近藤真規子, 佐野貴子, 椎野禎一郎, 井戸田一朗, 山中晃, 岩室紳也, 吉村幸浩, 立川夏夫, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾: 日本で検出した HIV-1 組み換え型流行株の解析, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
3. 武部豊, 内藤雄樹, 草川茂, 加藤真吾, 俣野哲郎, 近藤真規子: 男性同性愛者 (MSM) 間の HIV-1 流行の国際的感染ネットワークの解明に向けて: 我が国—中国—世界流行間のこれまで明らかにされてこなかった相互関係について, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
4. 岡崎玲子, 蜂谷敦子, 服部純子, 瀧永博之, 渡邊大, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 南留美, 吉田繁, 森治代, 内田和江, 椎野禎一郎, 加藤真吾, 千葉仁志, 伊藤俊広, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 古賀一郎, 太田康男, 山元泰之, 福武勝幸, 古賀道子, 岩本愛吉, 西澤雅子, 岡慎一, 岩谷靖雅, 松田昌和, 重見麗, 保坂真澄, 林田庸総, 横幕能行, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 白阪琢磨, 小島洋子, 藤井輝久, 高田昇, 高田清式, 山本政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦互: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
5. 吉田繁, 熊谷菜海, 松田昌和, 橋本修, 岡田清美, 伊部史朗, 和山行正, 西澤雅子, 佐藤かおり, 藤澤真一, 遠藤和之, 藤本勝也, 豊嶋崇徳, 加藤真吾, 杉浦互: 外部精度評価をもとにした HIV 薬剤耐性検査推奨法の考案, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
6. 親泊あいみ, 田水映子, 須藤弘二, 戸蒔祐子, 藤原宏, 長谷川直樹, 加藤真吾: 準完全長 HIV-1 プロウイルスの定量とその臨床的意義, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
7. 土屋亮人, 林田庸総, 濱田哲暢, 加藤真吾, 菊池嘉, 岡慎一, 瀧永博之: HIV 患者におけるラルテグラビル髄液中濃度と薬剤トランスポータの遺伝的多型についての検討, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
8. 須藤弘二, 藤原宏, 佐野貴子, 近藤真規子, 井戸田一朗, 今井光信, 長谷川直樹, 加藤真吾: 次世代シーケンサーを用いた HIV 感染時期推定法の研究, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
9. 須藤弘二, 佐野貴子, 近藤真規子, 今井光信, 加藤真吾: HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2013), 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
10. 佐野貴子, 山田里佳, 矢永由里子, 近藤真規子, 塚原優己, 今井光信, 加藤真吾: 保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2014 年 12 月、大阪
11. 藤原宏, 須藤弘二, 加藤真吾, 親泊あいみ, 上菘義典, 南宮湖, 小谷宙, 戸蒔祐子, 長谷川直樹, 岩田敏: 慶應義塾大学病院における HIV-1 複合感染 (dual

- infection) の検討、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
12. 木内英、加藤真吾、細川真一、田中瑞恵、中西美紗緒、定月みゆき、田沼順子、瀧永博之、矢野哲、菊池嘉、岡慎一：成人と新生児における AZT リン酸化物細胞内濃度の比較、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
 13. 南宮湖、藤原宏、西松直美、小谷宙、戸蒔祐子、加藤真吾、岩田敏、長谷川直樹：肺門・縦隔リンパ膨張の縮小を画像上、観察し得た MAC による免疫再構築症候群の一例、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
 14. 小谷宙、須藤弘二、藤原宏、上蓑義典、山口雅也、長谷川直樹、岩田敏、岡本真一郎、加藤真吾：HIV-1 の viral RNA および proviral DNA を用いた chemokine receptor 指向性結果の乖離に対する deep sequencing を用いた系統樹解析による原因の検討、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
 15. 堀亮介、藤原宏、南宮湖、上蓑義典、親泊あいみ、小谷宙、戸蒔祐子、加藤真吾、長谷川直樹、岩田敏：結核合併 AIDS 症例 3 例に関する臨床的検討、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
 16. 山田瑛子、高木律男、矢倉裕輝、吉野宗宏、加藤真吾：血中とだ液中のアタザナビル濃度の検討、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 年 12 月、大阪
 17. 佐野貴子、加藤真吾、今井光信。保健所等無料 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況調査。第 73 回日本公衆衛生学会総会。(平成 26 年 11 月 5 日-11 月 7 日、栃木)
 18. 佐野貴子、近藤真規子、岡部英男、須藤弘二、加藤真吾、今井光信。保健所および自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況について。第 28 回公衆衛生情報研究協議会研究会。(平成 27 年 1 月 29 日-30 日、栃木)
 19. 貞升健志：東京都の HIV 検査体制-これまでの成果と今後の方向性、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 (大阪)
 20. 長島真美、宮川明子、新開敬行、林 志直、貞升健志、甲斐明美：東京都内公的検査機関における HIV 検査数および陽性例の解析 (2008 年と 2013 年の比較)、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、2014 (大阪)
 21. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、古林敬一、谷口 恭、井戸田一朗、駒野 淳。HIV 感染者における新規 Ae/G リコンビナント HBV の解析。第 28 回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2014
 22. 川畑拓也、森 治代、小島洋子、後藤大輔、町登志雄、鬼塚哲郎、塩野徳史、市川誠一、岳中美江、岩佐 厚、亀岡 博、菅野展史、杉本賢治、高田昌彦、田端運久、中村幸生、古林敬一。診療所を窓口とした MSM 向け検査キャンペーン (2013 年)。第 4 回日本性感染症学会関西支部総会、大阪、2014
 23. 川畑拓也、古林敬一。大阪府内の性感染症関連医療機関における HIV 検査に関するアンケート調査。第 4 回日本性感染症学会関西支部総会、大阪、2014
 24. 川畑拓也。HIV 検査の基礎知識。エイズ予防財団 平成 26 年度 HIV 検査相談研修会、大阪、2014
 25. 川畑拓也、森 治代、小島洋子、後藤大輔、町登志雄、鬼塚哲郎、塩野徳史、市川誠一、岳中美江、岩佐 厚、亀岡 博、菅野展史、杉本賢治、高田昌彦、田端運久、中村幸生、古林敬一。診療所を窓口とした MSM 向け検査キャンペーン (2013 年)。第 28 回日本エイズ学会、大阪、2014
 26. 川畑拓也、古林敬一。大阪府内の性感染症関連医療機関における HIV 検査に関するアンケート調査。第 28 回日本エイズ学会、大阪、2014
 27. 川畑拓也。診療所における HIV 検査の算定要件緩和前後における比較検討。第 28 回日本エイズ学会シンポジウム、大阪、2014
 28. 井戸田一朗、梅毒はどのくらい増えているのか？第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪市、2014 年

29. 井戸田一朗、星野慎二、佐野貴子、近藤真規子、金子典代、ハッテン場における HIV 感染リスク低減に向けた意識行動調査 (第 2 報)。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪市、2014 年
30. 秋野憲一、遠藤浩正、田村光平、宮田勝、前田憲昭、宇佐美雄司：中核拠点病院における地域歯科医療確保に向けた取り組みの現状と課題、第 28 回日本エイズ学会総会、大阪、2014 年 12 月
31. 宮田勝、高木純一郎、藤邑守成、能島初美、宮浦朗子、山本裕佳、上田幹夫、山田三枝子、辻典子、前田憲昭、宇佐美雄司：拠点病院と歯科診療所の連携に関する考察 第 4 報、第 28 回日本エイズ学会総会、大阪、2014 年 12 月
32. 矢永由里子、櫻井具子、角田洋隆、今井朋美、小沼和広、山本貴子、村主千明。東京都南新宿検査相談室に HIV 検査受検者の動向 その 2。日本エイズ学会、2014 年、大阪。
33. 矢永由里子、小島勇貴、永井宏和、岩崎奈美、加藤真樹子、味澤篤、田沼順子、萩原将太郎、上平朝子、岡田誠治。HIV 感染悪性腫瘍患者の終末期医療での心理職の関わりについて：現状と課題。日本エイズ学会、2014 年、大阪。
34. Shiino T, Sadamasu K, Nagashima M, Hattori J, Hachiya A, Sugiura W. Phylodynamic analysis of HIV-1 subtype B population in Japan: Identification of large transmission clusters and their network structure. 9th HIV Transmission Workshop 2014 Cape Town, South Africa, Oct 25-26, 2014.
35. Nemoto M, Iwatani Y, Maeda N, Horibe K, Sugiura W. Exome Sequencing Identified a Novel TYK2 Compound Heterozygous Mutation in 2 Siblings with Primary Immunodeficiency Joint Meeting of the 1st Africa International Biotechnology & Biomedical Conference and the 8th International Workshop on Approaches to Single-Cell Analysis, Nairobi, Kenya, Sep 10-12, 2014.
36. Nakashima M, Kitamura S, Kurosawa T, Ode H, Kawamura T, Imahashi M, Yokomaku Y, Watanabe N, Sugiura W, Iwatani Y. Crystal structure of the Vif-inteaction domain of the anti-viral APOBEC3F. 23rd Congress of the International Union of Crystallography (IUCr2014), Montreal, Canada, Aug 5-12, 2014.
37. Yokomaku Y, Kito Y, Matsuoka K, Ode H, Matsuda M, Shimizu N, Iwatani Y, Sugiura W. CCR3 and CCR5 Dual Ttropic HIV-1 is a Possible Major Escape Mechanism Frommaraviroc-Containing Antiretroviral Therapy. International Workshop on Antiviral Drug Resistance (Meeting the Global Challenge), Berlin, Germany, Jun 3-7, 2014.
38. Ode H, Matsuoka K, Matsuda M, Hachiya A, Hattori J, Yokomaku Y, Iwatani Y, Sugiura W. HIV-1 Near Full-Length Genome Analysis by Next-Generation Sequencing: Evaluation of Quasispecies and Minority Drug Resistance. nternational Workshop on Antiviral Drug Resistance (Meeting the Global Challenge), Berlin, Germany, Jun 3-7, 2014.
39. Hattori J, Shiino T, Sugiura W, Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network Molecular Epidemiology of Recent Seroconverters and Drug-Resistant HIV-1 Transmission Networks in Japan. International Workshop on Antiviral Drug Resistance (Meeting the Global Challenge), Berlin, Germany, Jun 3-7, 2014.
40. Imahashi M, Izumi T, Imamura J, Matsuoka K, Ode H, Masaoka T, Sato K, Koyanagi Y, Takaori-Kondo A, Yokomaku Y, Sugiura W, Iwatani Y. Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and

- HIV-1 Risk. Cold Spring Harbor Laboratory Meetings & Courses Program, New York, USA, May 19-24, 2014.
41. Nakashima M, Kitamura S, Kurosawa T, Ode H, Kawamura T, Mano Y, Naganawa Y, Yokomaku Y, Watanabe N, Sugiura W, Iwatani Y. Fine-tuned HIV-1 Vif-interaction Interface of Anti-retroviral Cytidine Deaminase APOBEC3F. Cold Spring Harbor Laboratory Meetings & Courses Program, New York, USA, May 19-24, 2014.
 42. 魚田慎, 今村淳治, 古川聡美, 大出裕高, 横幕能行, 杉浦互. 次世代シーケンサを用いた Human Papillomavirus の検出及び解析方法の開発. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 12 月 3-5 日, 2014 年.
 43. 重見麗, 蜂谷敦子, 松田昌和, 今村淳治, 渡邊綱正, 横幕能行, 岩谷靖雅, 杉浦互. HIV-1 感染急性期における HIV 特異的な病態バイオマーカーの探索について. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 12 月 3-5 日, 2014 年.
 44. 芳田剛, 齋藤暁, 松岡和弘, 大出裕高, 岩谷靖雅, 保富康宏, 俣野哲朗, 三浦智行, 杉浦互, 明里宏文. サル指向性 HIV-1 の感染個体における増殖効率を上昇させる要因. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 12 月 3-5 日, 2014 年.
 45. 松田昌和, 大出裕高, 松岡和弘, 蜂谷敦子, 横幕能行, 岩谷靖雅, 杉浦互. Illumina MiSeq を用いた HIV-1 近全長遺伝子配列解析の試み. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 12 月 3-5 日, 2014 年.
 46. 大出裕高, 中島雅晶, 河村高志, 北村紳悟, 長縄由里子, 黒澤哲平, 真野由有, 栗津宏昭, 松岡和弘, 横幕能行, 渡邊信久, 杉浦互, 岩谷靖雅. HIV-1 Vif における APOBEC3C/F 結合インターフェース. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 12 月 3-5 日, 2014 年.
 47. 杉浦互. フローサイトメトリー検査における 5-color 解析法の導入による影響. 第 68 回国立病院総合医学会, 横浜, 11 月 14-15 日, 2014 年.
 48. 東濃篤徳, 鈴木紗織, 森健一, 大出裕高, 松岡和弘, 片貝祐子, 岡林佐知, 楨昇, 岩谷靖雅, 杉浦互, 明里宏文. 小型霊長類において持続感染した GBV-B の変異解析. 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜, 11 月 10-12 日, 2014 年.
 49. 芳田剛, 齋藤暁, 松岡和弘, 大出裕高, 岩谷靖雅, 杉浦互, 保富康宏, 俣野哲朗, 三浦智行, 明里宏文. In vivo におけるサル指向性 HIV-1 の増殖効率を上昇させる要因. 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 11 月 10-12 日, 2014 年.
 50. 本村和嗣, 飯塚節子, 中村昇太, 元岡大祐, 大出裕高, 杉浦互, 佐藤裕徳, 田中智之, 武田直和. ノロウイルス集団食中毒事例における混合感染の解析. 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜, 11 月 10-12 日, 2014 年.
 51. 中島雅晶, 大出裕高, 河村高志, 北村紳悟, 長縄由里子, 黒澤哲平, 真野由有, 栗津宏昭, 松岡和弘, 横幕能行, 渡邊信久, 杉浦互, 岩谷靖雅. 空間的に異なる APOBEC3 結合インターフェースをもつ HIV-1 Vif. 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜, 11 月 10-12 日, 2014 年.
 52. 大出裕高, 松岡和弘, 松田昌和, 蜂谷敦子, 横幕能行, 岩谷靖雅, 杉浦互. Deep sequencing による HIV-1 臨床検体の近全長ゲノム配列解析系の構築. 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜, 11 月 10-12 日, 2014 年.
 53. 大出裕高, 松岡和弘, 松田昌和, 蜂谷敦子, 服部純子, 横幕能行, 岩谷靖雅, 杉浦互. Deep Sequencing による近全長 HIV-1 ゲノムの Quasispecies 解析と微量薬剤耐性変異の検出. 第 16 回白馬シンポジウム, 熊本, 6 月 13-14 日, 2014 年.
 54. Saeng-aroon S, Locket R, Plipat T, Sangkitporn S, 近藤真規子, 武部豊, 中山英美, 武田直和, 本村和嗣, 塩田達雄: Distribution of HIV-1 subtypes in female sex workers recently infected with HIV-1 in Thailand, 第 62 回日本

- ウイルス学会学術集会・総会（2014年11月11～13日、横浜市）。
55. 椎野禎一郎、服部純子、瀧永博之、吉田繁、石ヶ坪良明、近藤真規子、貞升健志、横幕能行、古賀道子、上田幹夫、田邊嘉也、渡邊大、森治代、南留美、健山正男、杉浦互：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 5：MSM コミュニティへのサブタイプ B 感染の動態、第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会（2014年12月3～5日、大阪市）。
 56. 渡邊寿美、佐野貴子、伊達佳美、近藤真規子、黒木俊郎：神奈川県で検出されたオセルタミビル耐性インフルエンザウイルス AH1pdm09 株について、地研全国協議会第 29 回関東甲信静支部ウイルス研究部会（2014年9月25～26日、長野市）。
 57. 鈴木理恵子、金城恵子、近藤真規子、黒木俊郎：神奈川県における麻疹ウイルス検出状況、地研全国協議会第 29 回関東甲信静支部ウイルス研究部会（2014年9月25～26日、長野市）。
 58. Hattori J, Gatanaga H, Kondo M, Sadamasu K, Kato S, Mori H, Minami R, Uchida K, Yokomaku Y, Sugiura W. Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. Comparison of patient characteristics and trends of transmitted drug resistant HIV between recent and long-term infection among treatment-naïve HIV-1-infected populations in Japan. 7th IAS Conference on HIV Pathogenesis. Treatment and Prevention. Kuala Lumpur, Malaysia, June 30-July 3, 2013.
 59. 加藤真吾、須藤弘二：病院における HIV を含む感染症検査の実態調査、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 60. 矢永由里子、長谷川直樹、岩田敏、加藤真吾：病院での HIV 検査東欧の実際、現場の教育・研修のニーズの内容把握と医療者主体の検査のあり方の検討、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 61. 佐野貴子、井戸田一朗、川畑拓也、千々和勝己、須藤弘二、近藤真規子、今井光信、加藤真吾：民間クリニックにおける HIV 即日検査の導入支援および結果解析、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 62. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾：HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査（2012）、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 63. 星野慎二、井戸田一朗、日高庸晴、加藤真吾、白阪琢磨：MSM 商業施設の訪問経験がない若年層を対象にした行政・教育・医療連携による多目的支援施設のあり方の検討、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 64. 山田瑛子、高木律男、田邊嘉也、永井孝宏、村山正晃、池野良、児玉泰光、親泊あいみ、須藤弘二、戸蒔祐子、藤原宏、長谷川直樹、加藤真吾：抗 HIV 薬のだ液中薬剤濃度の検討、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 65. 近藤真規子、佐野貴子、井戸田一朗、吉村幸浩、立川夏夫、山中晃、岩室紳也、今井光信、武部豊、加藤真吾：中国の MSM 間で大流行している HIV-1 CRF01_AE variant の日本への流入、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 66. 重見麗、服部純子、蜂谷敦子、瀧永博之、渡邊大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南留美、吉田繁、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、松田昌和、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、武山正男、杉浦互：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向、第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、

- 2013年11月、熊本
67. 吉田繁、服部純子、松田昌和、橋本修、岡田清美、和山行正、加藤真吾、伊部史朗、巽正志、杉浦互：2012年度HIV薬剤耐性検査外部精度管理の報告、第27回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 68. 丹羽一貴、山元泰之、近澤悠志、備後真登、清田育男、四本美保子、大瀧学、尾形享一、萩原剛、鈴木隆史、天野景裕、高谷紗帆、鯉渕智彦、岩本愛吉、親泊あいみ、加藤真吾、杉浦互、福武勝幸：「診療におけるHIV-1/2感染症の診断ガイドライン2008（日本エイズ学会・日本臨床検査医学会標準推奨法）」逸脱症例、第27回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 69. 山崎さやか、近藤真規子、加藤真吾：リアルタイムPCRを用いたHIV-1とHIV-2の同時検査法の開発、第27回日本エイズ学会学術集会・総会、2013年11月、熊本
 70. 川畑拓也、長島真美、貞升健志、小島洋子、森 治代：HIV急性感染期の診断における第4世代HIV迅速検査試薬エスプラインHIV Ag/Abの性能評価、第27回日本エイズ学会学術集会、2013、熊本
 71. 長島真美、宮川明子、新開敬行、林志直、貞升健志、甲斐明美：東京都におけるHIV検査陽性例より検出されたT215X-revertantの解析、第27回日本エイズ学会学術集会、2013、熊本
 72. 松浦基夫、大田加与、西田幸司、藤本卓司、川畑拓也、森 治代、小島洋子。急性感染後半年以上にわたり抗体陽性とならず、急速に免疫不全に陥った一症例。第27回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2013
 73. 川畑拓也。HIV検査の基礎知識。エイズ予防財団平成25年度HIV検査相談研修会、大阪、2013
 74. 佐野貴子、井戸田一朗、川畑拓也、千々和勝己、須藤弘二、近藤真規子、今井光信、加藤真吾、研究協力民間クリニックの先生方。民間クリニックにおけるHIV即日検査の導入支援および結果解析。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 75. 川畑拓也、長島真美、貞升健志、小島洋子、森 治代。HIV急性感染期の診断における第4世代HIV迅速検査試薬エスプラインHIV Ag/Abの性能評価。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 76. 川畑拓也、後藤大輔、町登志雄、鬼塚哲郎、塩野徳史、市川誠一、岳中美江、岩佐 厚、亀岡 博、菅野展史、高田昌彦、田端運久、中村幸生、古林敬一、小島洋子、森 治代。診療所を窓口としたMSM向けHIV検査普及プログラムの改良に向けた検討。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 77. 松浦基夫、大田加与、大成功一、藤本卓司、川畑拓也、森 治代、小島洋子。急性感染後半年以上にわたり抗体陽性とならず、急速に免疫不全に陥った一症例。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 78. 長島真美、宮川明子、新開敬行、林志直、貞升健志、甲斐明美、小島洋子、川畑拓也、森治代。東京都におけるHIV検査陽性例より検出されたT215X-revertantの解析。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 79. 松浦基夫、川畑仁貴、大田加与、大成功一、藤本卓司、川畑拓也、森治代、小島洋子。HIV感染初期にHIV-RNAが107copies/mLを超えた5症例の臨床的特徴。第27回日本エイズ学会、熊本、2013
 80. 川畑拓也。HIV/AIDSの発生動向（2013年）。関西HIV臨床カンファレンス第50回講演会、大阪、2014
 81. 井戸田一朗、星野慎二、佐野貴子、近藤真規子、金子典代、ハッテン場におけるHIV感染リスク低減に向けた意識行動調査。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本市、2013
 82. 井戸田一朗、加藤康幸、青柳東代、相崎英樹、脇田隆字、しらかば診療所で経験した、HIV陽性者における急性C型肝炎の集団発生について。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本市、2013
 83. 星野慎二、井戸田一朗、上田敦久、相楽裕子、佐伯理恵、鈴木宣子、平岡真理子、川崎市におけるMSMを対象とした無料

- HIV/STIs 検査相談結果について。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本市、2013
84. 宮田 勝、高木純一郎、能美初美、山本裕佳、上田幹夫、山田三枝子、辻 典子、溝部潤子、前田憲昭：拠点病院と歯科診療所との連携に関する考察 第 3 報—研修会の現状と歯科医療体制のネットワークの取り組み—、第 26 回日本エイズ学会、熊本、2013 年 11 月
 85. 永井考宏、児玉泰光、山田瑛子、村山正晃、池野 良、田邊嘉也、高木律男：新潟大学医歯学総合病院歯科における HIV 感染患者の臨床的検討、第 26 回日本エイズ学会、熊本、2013 年 11 月
 86. 矢永由里子、山田里佳、谷口晴記他。妊婦 HIV スクリーニング検査の調査による検査時対応の現状と課題の検討。第 27 回日本エイズ学術集会・総会、平成 25 年 11 月 22 日、熊本
 87. Kitamura S, Ode H, Nakashima M, Imahashi M, Naganawa Y, Kurosawa T, Yokomaku Y, Yamane T, Watanabe N, Suzuki A, Sugiura W, and Iwatani Y. The crystal structure of APOBEC3C including HIV-1 Vif-binding interface. 4th International Symposium on Diffraction Structural Biology. Nagoya, May 26-29, 2013.
 88. 杉浦互。「H I V 治療の進歩と薬剤耐性 H I V の動向」 大阪 2013 年 6 月 1 日
 89. Shiino T, Sadamasu K, Hattori J, Nagashima M, Iwatani Y, Yokomaku Y, Sugiura W. Molecular phylodynamic analysis of drug resistance transmissions in HIV-1 subtype B in Japan. International Workshop on HIV & Hepatitis Virus Drug Resistance and Curative Strategies. Toronto, Canada, June 4-8, 2013.
 90. Matsuoka K, Tanabe F, Shigemi U, Hattori J, Ode H, Masaoka T, Morishita R, Sawasaki T, Yokomaku Y, Iwatani Y, Sugiura W. Complexity of cross-resistance mutation patterns in diarylpyrimidine non-nucleoside reverse transcriptase inhibitors rilpivirine and etravirine in clinical isolates. International Workshop on HIV & Hepatitis Virus Drug Resistance and Curative Strategies. Toronto, Canada, June 4- 8, 2013.
 91. 北村紳悟, 大出裕高, 中島雅晶, 今橋真弓, 長縄由里子, 黒沢哲平, 横幕能行, 山根隆, 渡邊信久, 鈴木淳巨, 杉浦互, 岩谷靖雅. ヒト抗レトロウイルス因子 APOBEC3 フェミリー間における HIV-1 Vif 結合インターフェイスの構造比較 第 13 回日本蛋白質科学会年会 鳥取 2013 年 6 月 12-14 日
 92. Imahashi M, Izumi T, Imamura J, Matsuoka K, Koyanagi Y, Takaori-Kondo A, Yokomaku Y, Naoe T, Sugiura W, Iwatani Y. A population-based matched-cohort study on insertion/deletion polymorphism of the APOBEC3B gene and risk of HIV-1. 7th IAS Conference on HIV Pathogenesis. Treatment and Prevention. Kuala Lumpur, Malaysia, June 30-July 3, 2013.
 93. 今橋真弓、泉泰輔、渡邊大、今村淳治、松岡和弘、佐藤佳、小柳義夫、高折晃史、横幕能行、白阪琢磨、杉浦互、岩谷靖雅、直江知樹。HIV-1 感染伝播・病勢に対する APOBEC3B 遺伝子型の影響に関する解析 第 15 回白馬シンポジウム 名古屋 2013 年 7 月 19-20 日
 94. 大出裕高、松岡和弘、松田昌和、根本理子、蜂谷敦子、横幕能行、岩谷靖雅、杉浦互。次世代シーケンサー Illumina MiSeq による HIV ゲノム解析系の構築 第 15 回白馬シンポジウム 名古屋 2013 年 7 月 19-20 日
 95. 松岡和弘、重見麗、大出裕高、蜂谷敦子、服部純子、森下了、澤崎達也、横幕能行、岩谷靖雅、杉浦互。HIV-1 臨床分離株を用いた Rilpivirine 及び Etravirine に対する交差耐性変異に関する酵素学的な解析 第 15 回白馬シンポジウム 名古屋 2013 年 7 月 19-20 日
 96. 中島雅晶、北村紳悟、黒澤哲平、大出裕

- 高、河村高志、今橋真弓、長縄由里子、横幕能行、渡邊信久、杉浦互、岩谷靖雅. HIV-1 Vif 結合領域を持つ APOBEC3F C 末端側ドメインの構造解析 第 15 回白馬シンポジウム 名古屋 2013 年 7 月 19-20 日
97. Kitamura S, Ode H, Nakashima M, Imahashi M, Naganawa Y, Kurosawa T, Yokomaku Y, Yamane T, Watanabe N, Suzuki A, Sugiura W, & Iwatani Y. Crystal structure of human APOBEC3C and HIV-1 Vif-binding interface. American Crystallographic Association Annual Meeting. Hawaii, USA, July 20-24, 2013.
98. Sugiura W. HIV Drug Resistance. Korea, Sep 24-25, 2013.
99. Shiino T, Sadamasu K, Nagashima M, Hattori J, Iwatani Y, Yokomaku Y, Sugiura W. Nationwide HIV-1 transmission dynamics estimated by molecular evolutionary analysis in Japan. 8th International Workshop on HIV Transmission-Principles of Intervention. Barcelona, Spain, Oct 4-5, 2013.
100. Ode H, Sugiura W, Yokomaku Y. Molecular dynamics simulations of HIV-1 protease-inhibitor complex with modified charges for catalytic aspartate. 第 51 回日本生物物理学会年会 京都 2013 年 10 月 28-30 日
101. 今橋真弓、泉泰輔、渡邊大、今村淳治、松岡和弘、佐藤桂、金子典代、市川誠一、小柳義夫、高折晃史、内海眞、横幕能行、白阪琢磨、直江知樹、岩谷靖雅、杉浦互. HIV-1 感染伝播・病勢に対する APOBEC3B 遺伝子型の影響に関する解析 第 67 回国立病院総合医学会 金沢 2013 年 11 月 8-9 日
102. 齊藤暁、大附寛幸、東濃篤徳、鈴木紗織、松田健太、高橋尚史、松岡佐織、岩谷靖雅、杉浦互、野間口雅子、足立昭夫、保富康宏、俣野哲朗、三浦智行、明里宏文. CCR5 指向性を示す新規サル指向性 HIV-1 はサル個体に持続感染する 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
103. 大出裕高、松岡和弘、松田昌和、根本理子、蜂谷敦子、横幕能行、岩谷靖雅、杉浦互. 次世代シーケンサー Illumina MiSeq による HIV ゲノム配列の網羅的解析システムの構築 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
104. Michailidis, Yee Tsuey Ong, 岡慎一, Michael A. Parniak, 前島雅美, 松岡和弘, 岩谷靖雅. KyeongEun Lee, Vineet N. KewalRamani, Kamalendra Singh, 杉浦互, Stefan G. Sarafianos カプシドと核膜移行を標的とした低分子化合物の開発とその作用機序の解明 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
105. 保坂真澄、藤崎誠一郎、服部純子、椎野禎一郎、松田昌和、蜂谷敦子、重見麗、岡崎玲子、岩谷靖雅、濱口元洋、横幕能行、杉浦互. 東海地域で見いだされた新たな CRF01_AE/B リコンビナント HIV-1 株 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
106. 中島雅晶、北村紳悟、大出裕高、河村高志、今橋真弓、長縄由里子、黒沢哲平、横幕能行、渡邊信久、杉浦互、岩谷靖雅. APOBEC3F C 末端側ドメインの構造解析と HIV-1 Vif 結合インターフェイス 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
107. 齊藤暁、大附寛幸、東濃篤徳、鈴木紗織、松田健太、高橋尚史、松岡佐織、岩谷靖雅、杉浦互、野間口雅子、足立昭夫、保富康宏、俣野哲朗、三浦智行、明里宏文. CCR5 指向性を示す新規サル指向性 HIV-1 はサル個体に持続感染する 第 61 回日本ウイルス学会学術集会 神戸 2013 年 11 月 10-12 日
108. 今橋真弓、泉泰輔、渡邊大、今村淳治、松岡和弘、正岡崇志、佐藤桂、金子典代、市川誠一、小柳義夫、高折晃史、内海眞、横幕能行、白阪琢磨、直江知樹、杉浦互、岩谷靖雅. 宿主防御因子 APOBEC3B の遺伝子欠損による HIV-1 感染伝播・病勢へ

- の影響に関する研究 第 61 回日本ウイルス学会学術集会 神戸 2013 年 11 月 10-12 日
109. 蜂谷敦子、Christie Pautler、Jennifer Moran、Sanath Janaka、Karen A. Kirby、Eleftherios Michailidis、Yee Tsuey Ong、岡慎一、Michael A. Parniak、前島雅美、松岡和弘、岩谷靖雅、KyeongEun Lee、Vineet N. KewalRamani、Kamalendra Singh、杉浦 互、Stefan G. Sarafianos. カプシドと核膜移行を標的とした低分子化合物の開発とその作用機序の解明 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本 2013 年 11 月 20-22 日
 110. 大出裕高、松岡和弘、松田昌和、根本理子、蜂谷敦子、横幕能行、岩谷靖雅、杉浦 互. 次世代シーケンサー Illumina MiSeq による微小集族薬剤耐性 HIV の網羅的検出システムの構築 第 61 回日本ウイルス学会学術集会 神戸 2013 年 11 月 10-12 日
 111. 北村紳悟、中島雅晶、黒沢哲平、大出裕高、河村高志、今橋真弓、長縄由里子、真野由有、横幕能行、渡邊信久、杉浦互、岩谷靖雅. 抗 HIV-1 宿主因子 APOBEC3F の Vif 結合領域に関する構造学的解析 第 61 回日本ウイルス学会学術集会 神戸 2013 年 11 月 10-12 日
 112. 中島雅晶、北村紳悟、黒沢哲平、大出裕高、河村高志、真野由有、今橋真弓、長縄由里子、横幕能行、渡邊信久、杉浦互、岩谷靖雅. APOBEC3F タンパク質上の HIV-1 Vif 結合領域の同定と構造学的解析 第 36 回日本分子生物学会 神戸 2013 年 12 月 3-6 日
 113. 細羽恵理子、鈴木匡弘、杉浦互. 国内で分離された *Acinetobacter baumannii* の MLST による系統解析 第 25 回日本臨床微生物学会 名古屋 2014 年 2 月 1-2 日
 114. 武部豊、近藤真規子、内藤雄樹：中国における HIV-1 CRF01_AE 流行を形成するファウンダー株の同定：我が国および周辺アジア諸国における流行との相互関係の解析、第 61 回日本ウイルス学会学術集会 (2013 年 11 月 10~12 日、神戸)。
 115. 鈴木理恵子、渡邊寿美、佐野貴子、近藤真規子：神奈川県における風疹ウイルス検出状況と遺伝子解析、第 61 回日本ウイルス学会学術集会 (2013 年 11 月 10~12 日、神戸)。
 116. 武部豊、近藤真規子：中国における CRF01_AE 流行の動因となっているファウンダー株の分析：我が国および周辺アジア諸国における流行との相互関係、第 27 回日本エイズ学会学術集会 (2013 年 11 月 20~22 日、熊本)。
 117. 渡邊寿美、佐野貴子、伊達佳美、近藤真規子、黒木俊郎、2012/2013 シーズンの神奈川県におけるインフルエンザ検出状況、第 28 回関東甲信静支部ウイルス研究部会、(2013 年 9 月 26~27 日、千葉市)
 118. 鈴木理恵子、木村睦未、近藤真規子、黒木俊郎、神奈川県における麻疹疑い患者からの風疹ウイルス検出状況と遺伝子解析、第 28 回関東甲信静支部ウイルス研究部会、(2013 年 9 月 26~27 日、千葉市)
 119. Kato S, Murayama M, Kondo M, Takagi R; Anti-HIV-1 activity of saliva through cleavage of viral RNA strands, The XIX International AIDS Conference (22-27 July 2012, Washington, D.C., USA) .
 120. 加藤真吾：わが国の HIV 流行終息にむけて (共催セミナー2)、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、2012 年 11 月、横浜
 121. 加藤真吾：HIV-1 指向性推定システム geno2pheno の性能評価、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、2012 年 11 月、横浜
 122. 小谷宙、須藤弘二、長谷川直樹、池谷修、河村俊一、加藤真吾、岡本真一郎、岩田敏：ウイルス RNA およびウイルス DNA を用いた指向性検査結果の比較検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、2012 年 11 月、横浜
 123. 吉田繁、服部純子、松田昌和、橋本修、岡田清美、和山行正、加藤真吾、伊部史朗、巽正志、杉浦互：2011 年度 HIV 薬剤耐性検査外部精度管理の報告、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、2012 年

- 11月、横浜
124. 前田憲昭、加藤真吾、的野慶、溝部潤子、中川裕美子、池野良：院内ポスターを活用した検査へ繋げる歯科診療、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
125. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾：HIV 郵送検査に関する実態調査(2009-2011)、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
126. 坪井宏仁、柳瀬未季、吉田直子、Mouhiuddin Hussain Khan、加藤真吾、木村和子：だ液および尿を検体とするHIV自己検査キットの試買調査、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
127. 小島賢一、花房秀次、久慈直昭、高桑好一、加嶋克則、加藤真吾：HIV感染者の生殖補助医療を支援してー最近五年間の現状と課題ー、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
128. 近藤真規子、佐野貴子、須藤弘二、立川夏夫、相楽裕子、岩室紳也、井戸田一朗、山中晃、武部豊、今井光信、加藤真吾：日本で流行しているHIV-1サブタイプの変遷、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
129. 佐野貴子、小林寛子、杉浦太一、須藤弘二、植田知幸、清水茂徳、近藤真規子、今井光信、加藤真吾：ホームページ「HIV検査・相談マップ」によるHIV検査機関の情報提供およびサイト利用状況、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
130. 佐野貴子：保健所等におけるHIV検査体制の現状と課題、第26回日本エイズ学会学術集会・総会シンポジウム、2012年11月、横浜
131. 井部進、南宮湖、鎌田将史、藤原宏、長谷川直樹、加藤真吾、小谷宙、戸蒔祐子、岩田敏、根岸昌功：脳悪性リンパ腫とHIV脳症及び全身性カポジ肉腫の合併により死亡の転帰を辿ったAIDS患者の剖検例、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
132. 鎌田将史、南宮湖、井部進、藤原宏、長谷川直樹、加藤真吾、小谷宙、戸蒔祐子、岩田敏、根岸昌功：HIV患者におけるニューモシスチス肺炎回復後の呼吸機能の検討、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
133. 服部純子、瀧永博之、渡邊大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南留美、吉田繁、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、佐藤典宏、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、伊部史朗、松田昌和、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田昇、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互：新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月、横浜
134. 矢永由里子：メンタルヘルスのシリーズのまとめと今後に向けて、セミナー5 HIV陽性者のメンタルヘルス、その4～隣接領域であるがんの心理臨床の専門家を迎えて がんや高齢化のテーマを考える～、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月24日、横浜市
135. 矢永由里子、高田知恵子、紅林洋子、井村弘子、渡久山朝裕：検査相談研修におけるカウンセラーの関わりと講師養成の考察：その試みと課題について、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、2012年11月25日、横浜市
136. 井戸田一朗：MSMと性感染症、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
137. 井戸田一朗：HIV診療におけるアディクション、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
138. 井戸田一朗：都内一診療所における、MSMの年間HIV罹患率の推移、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
139. 井戸田一朗：民間クリニックにおける院内自発検査の推進、第26回日本エイズ

- 学会学術集会・総会、横浜市、2012年
140. 大林由英, 新井明日奈, 大野稔子, 玉城英彦. 「エイズ治療ブロック拠点病院の外来医師を対象としたHIV検査に関する意識調査—HIV検査に関する経験の有無と検査体制への意識との関連の分析—」, 第26回日本エイズ学会, 2012年11月, 横浜市.
 141. 廣岡憲造, 吉村有未, 吉田恵, 大林由英, 新井明日奈, 玉城英彦. 「HIV/AIDSに対する偏見に影響する要因: 大学生を対象とした調査結果から」, 第26回日本エイズ学会, 2012年11月, 横浜市.
 142. 廣岡憲造, 吉村有未, 吉田恵, 大林由英, 新井明日奈, 玉城英彦. 「大学生におけるHIV/AIDSへの偏見・差別に関する調査研究」, 第64回北海道公衆衛生学会, 2012年11月, 札幌市.
 143. 長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 吉田 勲, 原田幸子, 林 志直, 貞升健志, 甲斐明美: 2007年~2011年の東京都内におけるHIV検査陽性例の解析, 第26回日本エイズ学会学術集会, 2012(横浜)
 144. 長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 吉田 勲, 原田幸子, 林 志直, 貞升健志, 甲斐明美: 東京都内公的検査機関におけるHIV検査数の解析(2007-2011年), 第26回日本エイズ学会学術集会, 2012(横浜)
 145. 川畑拓也. 大阪府内のHIVの流行状況とHIV/STI対策について. 関西HIV臨床カンファレンス第48回講演会、大阪、2013年2月
 146. 森 治代、小島洋子、川畑拓也. 血漿中HIV-1とPBMC由来分離HIV-1のコレセプター指向性不一致例. 第26回日本エイズ学会学術集会、横浜、2012年11月
 147. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、駒野 淳、谷口 恭、井戸田一朗. HIV感染者における新規Ae/GリコンビナントHBVの解析. 第60回日本ウイルス学会学術集会、大阪、2012年11月
 148. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、谷口 恭、井戸田一朗. HIV陽性者におけるHBVジェノタイプAe/Gリコンビナント. 第26回近畿エイズ研究会学術集会、神戸、2012年7月
 149. 武部豊、近藤真規子: 中国における男性同性愛者(MSM)間のHIV-1流行の急速な拡大に関する分子疫学と我が国への流行波及を示す知見. 第60回日本ウイルス学会学術集会、2012年11月13~15日、大阪.
 150. 椎野禎一郎、服部純子、瀧永博之、吉田繁、上田敦久、近藤真規子、貞升健志、藤井 毅、横幕能行、上田幹夫、田邊嘉也、渡邊 大、森 治代、南 留美、健山正男、杉浦 互: 国内感染者集団の大規模塩基配列解析3: 希少サブタイプとサブタイプ間組換え体の動向. 第26回日本エイズ学会学術集会・総会. 2012年11月24~26日、横浜.
 151. J. Hattori, U. Shigemi, M. Hosaka, R. Okazaki, Y. Iwatani Y. Yokomaku, W. Sugiura. Socio-demographic analysis of treatment-naïve HIV-1-POSITIVE POPULATIONS WITH RECENT OR LONG-TERM INFECTION ESTIMATED BY BED assay in Japan. XIX International AIDS Conference, Seattle, Washington, USA, Jul 22-27, 2012.
 152. 松岡和弘, 田邊史子, 重見麗, 服部純子, 正岡崇志, 森下了, 澤崎達也, 横幕能行, 岩谷靖雅, 杉浦互. コムギ無細胞蛋白質合成系を利用したHIV-1逆転写酵素のin vitro薬剤感受性解析法の開発. 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012年11月24-26日.
 153. 大出裕高, 鈴木康二, 藤野真之, 前島雅美, 木村雄貴, 正岡崇志, 服部純子, 横幕能行, 鈴木淳巨, 渡邊信久, 岩谷靖雅, 杉浦互. 耐性誘導により得た高度ダルナビル耐性HIV-1プロテアーゼの構造学的解析. 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012年11月24-26日.
 154. 今橋真弓, 泉泰輔, 今村淳治 1, 松岡和弘, 金子典代, 市川誠一, 高折晃史, 内海眞, 横幕能行, 直江知樹, 杉浦互, 岩谷靖雅. HIV-1感染伝播・病勢に対するAPOBEC3B遺伝子型の影響に関する解析. 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012年11月24-26日.
 155. 松田昌和, 服部純子, 今村淳治, 横幕能

- 行, 岩谷靖雅, 杉浦互. Plasma RNA と Proviral DNA による HIV 指向性遺伝子型の比較解析. 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012 年 11 月 24-26 日.
156. 鬼頭優美子, 松田昌和, 服部純子, 伊部史朗, 大出裕高, 松岡和弘, 今村淳治, 岩谷靖雅, 杉浦互, 横幕能行. 臨床検体由来 env 全長組み換え HIV-1 による指向性検査法の確立. 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012 年 11 月 24-26 日.
157. 伊部史朗, 横幕能行, 前島雅美, 松岡和弘, 正岡崇, 岩谷靖雅, 杉浦互. 薬剤感受性プロファイリングに裏づけされた新規 HIV-2 組換え流行株 CRF01_AB 感染例の良好な治療経過. 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2012 年 11 月 24-26 日.
158. 羽柴知恵子, 福山由美, 伊藤明日美, 長谷川真奈美, 渡邊智子, 藤谷和美, 小川恵子, 杉浦互, 横幕能行. HIV 陽性者への外来トリアージの必要性に向けて. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
159. 永見芳子, 塚本弥生, 杉本香織, 杉浦互, 福山由美, 横幕能行. 長期に療養が必要となった HIV 感染症患者への支援体制の現状と課題. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
160. 丸山笑里佳, 羽柴知恵子, 福山由美, 杉浦互, 横幕能行. 違法薬物使用歴を持つ HIV 陽性者に対する内科外来での心理的支援の検討. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
161. 榊原美穂, 福山由美, 羽柴知恵子, 長谷川真奈美, 伊藤明日美, 渡邊智子, 藤谷和美, 小川恵子, 杉浦互, 横幕能行. 外来看護師による HIV 陽性者受診継続のための看護介入判断基準の標準化に向けて. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
162. 渡邊英恵, 福山由美, 羽柴知恵子, 伊藤明日美, 長谷川真奈美, 渡邊智子, 藤谷和美, 小川恵子, 杉浦互, 横幕能行. HIV 陽性女性が安心して将来の妊娠について考えられる外来看護支援に向けて. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
163. 福山由美, 大林由美子, 杉浦互, 横幕能行. 医療機関からみる愛知県内 HIV 陽性判明の動向 ～いきなりエイズ減少に向けて～. 第 66 回国立病院総合医学会, 神戸, 2012 年 11 月 16-17 日.
164. 北村紳悟, 大出裕高, 中島雅晶, 今橋真弓, 長縄由里子, 黒沢哲平, 横幕能行, 山根隆, 渡邊信久, 鈴木淳巨, 杉浦互, 岩谷靖雅. APOBEC3C の構造解析と HIV-1 Vif 結合インターフェイスの同定. 第 60 回日本ウイルス学会学術集会, 大阪, 2012 年 11 月 13-15 日.
165. 大出裕高, 鈴木康二, 藤野真之, 前島雅美, 木村雄貴, 正岡崇志, 服部純子, 横幕能行, 鈴木淳巨, 渡邊信久, 岩谷靖雅, 杉浦互. 高度ダルナビル耐性 HIV-1 の分子機序の解明. 第 60 回日本ウイルス学会学術集会, 大阪, 2012 年 11 月 13-15 日.
166. 中島雅晶, 北村紳悟, 大出裕高, 今橋真弓, 長縄由里子, 黒沢哲平, 横幕能行, 山根隆, 渡邊信久, 鈴木淳巨, 杉浦互, 岩谷靖雅. APOBEC3 間における HIV-1 Vif 結合インターフェイスの違い. 第 60 回日本ウイルス学会学術集会, 大阪, 2012 年 11 月 13-15 日.
167. 岩谷靖雅, 前島雅美, 北村紳悟, 大出裕高, 中島雅晶, 今橋真弓, 長縄由里子, 黒沢哲平, 伊部史朗, 横幕能行, 杉浦互. APOBEC3G の酵素活性非依存的な抗 HIV-1 作用メカニズム. 第 60 回日本ウイルス学会学術集会, 大阪, 2012 年 11 月 13-15 日.
168. 北村紳悟, 大出裕高, 中島雅晶, 今橋真弓, 長縄由里子, 横幕能行, 鈴木淳巨, 渡邊信久, 杉浦互, 岩谷靖雅. APOBEC3C の結晶構造解析と HIV-1 Vif 結合インターフェイスの同定. 第 12 回日本蛋白質科学会年会, 名古屋, 2012 年 6 月 20-22 日.
169. 伊部史朗, 横幕能行, 前島雅美, 松岡和弘, 正岡 宗, 岩谷靖雅, 杉浦互. 新規 HIV-2 組換え流行株 CRF01_AB 感染例の治

- 療経過と薬剤感受性ポロファイリング.
第 14 回白馬シンポジウム in 京都, 京都, 2012 年 6 月 7-8 日.
170. 松田昌和, 服部純子, 今村淳治, 横幕能行, 杉浦互. 遺伝子配列解析による HIV-1 指向性の判定とその動向. 第 86 回日本感染症学会総会, 長崎, 2012 年 4 月 25-26 日.
 171. 今村淳治, 横幕能行, 服部純子, 伊部史朗, 天羽清子, 塩見正司, 杉浦互. enofovir+Darunavir/r+Etravirine によるサルベージ療法が著効した多剤耐性 HIV 感染児の一例. 第 86 回日本感染症学会総会, 長崎, 2012 年 4 月 25-26 日.
 172. 今村淳治, 横幕能行, 片野晴隆, 安岡 彰, 杉浦互. 名古屋医療センターにおけるカポジ肉腫発症エイズ患者数の動向. 第 86 回日本感染症学会総会, 長崎, 2012 年 4 月 25-26 日.
 173. 伊部史朗, 近藤真規子, 今村淳治, 横幕能行, 杉浦互. HIV-1/HIV-2 重複感染疑似例における血清学のおよび遺伝子学的精査解析. 第 86 回日本感染症学会総会, 長崎, 2012 年 4 月 25-26 日.

II. 分担研究報告